

電力用蓄電器 概略仕様書

1. 適用規格

日本工業規格高圧及び特別高圧進相コンデンサ及び付属機器-第1部：コンデンサ JIS C 4902-1(2010), 第2部：直列リアクトル JIS C 4902-2(2010), 第3部：放電コイル JIS C 4902-3(2010) (以下 J I S という) による。

2. 単三相別, 屋内外別

三相, 屋外用

3. 基本構成および型式

単位コンデンサを所要の台数星形に接続しコンデンサバンクを構成する。直列リアクトルはコンデンサの線路端子側または中性点側に直列に接続し, 放電コイル (二次コイル付) はコンデンサに並列に接続する。なお, 直列リアクトルのリアクタンスは, コンデンサリアクタンスの6%を標準とする。設置方法は大地据置式とし, 縮小形オールフィルムコンデンサ式を標準とする。

3. 定格

回路電圧 (k V)	6 6
定格周波数 (H z)	5 0
公称設備容量 (M v a r)	1 0
単位コンデンサ定格電圧 (V)	7 0, 2 0 0
単位コンデンサ定格容量 (k v a r)	1 1, 3 0 0

上記以外の定格事項については, J I S による

4. 構造および性能

(1) 構造

J I S による。なお, コンデンサには絶縁油の温度変化による膨張収縮を自動的に調整する装置を付属し, 内部事故時など異常圧力を安全に放出する装置を備えるものとする。また外箱は油密性を保ちつつ絶縁油を採取できる構造とする。リアクトルには所要の冷却性能を有する冷却装置 (油入自冷式を標準とする) を付属するとともに, 温度警報接点およびダイヤル温度計を付属する。

(2) 使用絶縁油

コンデンサの絶縁油は JIS C 2320-1999「絶縁油」5種以上の性能を有するものを使用する。リアクトルは1種2号または7種2号以上の性能を有するものを使用すること。なお, P C B は含有しないものとする。

(3) 主回路との接続方法

気中接続, バスダクト内接続, 電力ケーブル接続, ガス絶縁開閉装置直結など, 別途指定する。

(4) 汚損条件および耐雪条件

別途指定する。

(5) がいし・がい管類

がいし・がい管類は所要の電氣的・機械的・熱的な各特性が優良なもので長時間使用できるものでなければならない。

(6) 表面のじんあい, 霧などに対する耐電圧

主回路対地間汚損耐電圧値は69kVとし, 電力用蓄電器の表面絶縁部分は, 常規使用状態において付着する塵埃, 霧および雪などにより使用上支障のある絶縁低下を生じてはならない。

(7) 耐電圧

雷インパルス耐電圧は, 350kVとする。また商用周波耐電圧試験は140kVとする。

5. 付属品

別途指定する。

6. 試験

J I S ならびに当社の指定する工場試験, 現地試験項目を実施する。

以 上